

# 令和2年度 静内農業高校 出前授業について

令和2年10月23日 農業高校生の農業への関心と就業意欲を高めることを目的として、2年生を対象に開催されました。

生産科学科では軽種馬産業への就職を目指す生徒が多く、西村和夫指導農業士（新ひだか町）から、職業としての軽種馬の魅力についての講演と、浦河町の「(公財)軽種馬育成調教センター（BTC）」にて、ウッドチップ馬場の整備体験などが実施されました。

食品科学科では静内農高生が試作した、昆布・桜風味のバターなどで食味評価の実施や、普及センター後藤昌人主査から地元の6次産業化の実例に関する講義の後、おかわ町の「ASUKAのチーズ工房」を訪問し農産物加工・販売の魅力に関するお話をうかがうなど、有意義な研修となりました。

（執筆者：主査（担い手） 脇坂 裕二）



写真1 西村指導農業士の講演



写真3 後藤主査から6次産業化を説明



写真2 屋内ウッドチップコースの整備体験



写真4 チーズ工房を訪問